

SPARC Japan パートナー誌と大学図書館関係者との懇談会 議事次第

日 時：平成 22 年 2 月 19 日（金） 10：30～14：30

場 所：学術総合センター 12 階会議室（1208, 1210）

議 事：

議事進行 逸村裕（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授）

- 懇談会趣旨説明
[杉田いづみ（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課図書館連携チーム係長）]
- SCPJ プロジェクトの目指すもの
[斎藤未夏（筑波大学附属図書館情報管理課専門職員）]
- 学会と図書館 - 連携の未来を目指して
[永井裕子（日本動物学会事務局長）]
- ディスカッション

配付資料

- SPARC Japan パートナー誌と大学図書館関係者との懇談会 出席者名簿
- これまでの経緯と本日の趣旨
- SCPJ プロジェクトの目指すもの
- 質問一覧

SPARC Japan パートナー誌と大学図書館関係者との懇談会 出席者名簿

パートナー誌（WG 参加以外の 28 学会中 8 学会 10 名）

名前	所属・役職	備考
後路 啓子	情報処理学会事務局	
岩瀬 良夫	情報処理学会事務局	
伊藤 純子	日本生物工学会事務局職員	
菊井 寿子	日本生物工学会事務局職員	
真鍋 真	日本古生物学会評議員，電子ジャーナル担当常務委員	
鳥羽 通久	日本爬虫両棲類学会評議員	
丸田 俊徳	日本学士院庶務係	
千葉 博紀	日本金属学会学術情報サービスグループ副主任	
武田 敏子	日本アレルギー学会英文誌編集	
酒井 麻貴	日本薬物動態学会 DMPK 編集局	

SPARC Japan WG（8名中6名）

名前	所属・役職	備考
谷藤 幹子	物質・材料研究機構企画部科学情報室長	
下越 弘子	日本数学会 Journal 編集部 Editorial Assistant	
林 和弘	日本化学会学術情報部課長	
永井 裕子	日本動物学会事務局長	
山下 和子	化学工学会編集グループ課長代理	
日岡 康恵	日本農芸化学会事務局編集係	

大学図書館関係者（IRと学術情報発信高度化に向けた検討WG10名+SCPJ関係者2名＝12名）

名前	所属・役職	備考
行木 孝夫	北海道大学大学院理学研究院数学部門准教授	
逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授	司会
尾城 孝一	東京大学附属図書館情報管理課長	
杉田 茂樹	北海道大学附属図書館学術システム課係長（システム管理担当）	
鈴木 雅子	小樽商科大学学術情報課情報普及係長	
永井 伸	東北大学附属図書館工学分館管理係員	
関川 雅彦	筑波大学附属図書館情報管理課長	
斎藤 未夏	筑波大学附属図書館情報管理課専門職員（リポジトリ担当）	
森 一郎	千葉大学情報部学術情報課専門職員	
次良丸 章	名古屋大学附属図書館情報システム課課長補佐	
筑木 一郎	京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛	
寺田 直美	奈良先端科学技術大学院大学附属図書館研究開発室員	

陪席（8名）

名前	所属・役職	備考
土屋 俊	千葉大学文学部教授・SPARC Japan 運営委員	
根岸 正光	国立情報学研究所教授・SPARC Japan 運営委員長	
安達 淳	国立情報学研究所学術基盤推進部長・SPARC Japan 運営委員	
青木利根男	国立情報学研究所学術基盤推進部次長・SPARC Japan 運営委員	
米澤 誠	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長	事務局
細川 聖二	国立情報学研究所学術コンテンツ課専門員（図書館連携チーム）	事務局
杉田いづみ	国立情報学研究所学術コンテンツ課図書館連携チーム係長	事務局
内藤裕美子	国立情報学研究所学術コンテンツ課図書館連携チーム係員	事務局

SPARC Japan パートナー誌と大学図書館関係者との懇談会
アンケートまとめ

参加者（陪席者除く）：28

アンケート回収数： 19（回収率：68%）

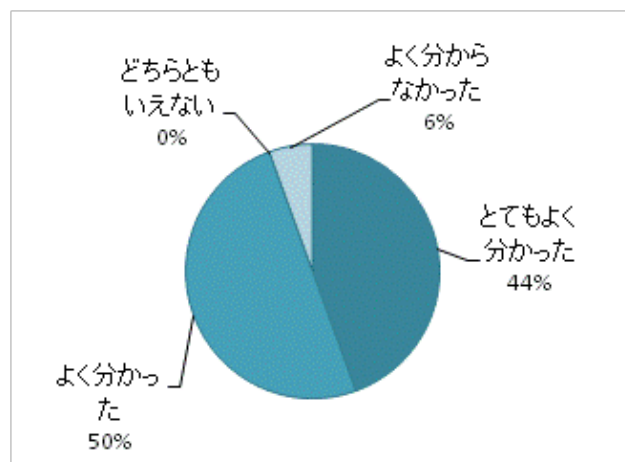
【全般】

- ・ 学会関係者，図書館関係者ともに「普段話を聞くことが出来ない相手の状況がわかってよかった」「更に相互理解を深めたい」という意見が多かった。
- ・ 学会と図書館だけではなく，研究者も交えた 3 者が意見交換できる場が必要という意見があった。
- ・ 図書館と学会がどう協力し合うのかを探る場だったが，論点がわかりにくかった。という反省点もあった。

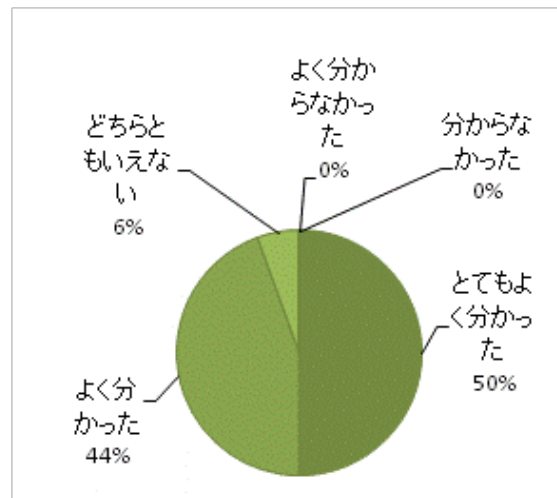
【今後の課題】

- ・ 本音に近い意見交換ができる場が必要。
- ・ 研究者の意識の中で学会や図書館に対する意識が薄れる傾向がある。より一層，全体像を考える場が必要。
- ・ 大きいテーマとしては，学術のあり方についての議論ができるといい。
- ・ パートナー誌に限らず，電子ジャーナル化が進んでいない学会に意見を聞きたい。
- ・ 具体的なトピックを挙げ，実現性まで踏み込んだディスカッションが必要。
- ・ SCPJ は，図書館のためのデータベースではなく，日本の学術基盤全体を量的に見せるデータベースになってほしい。

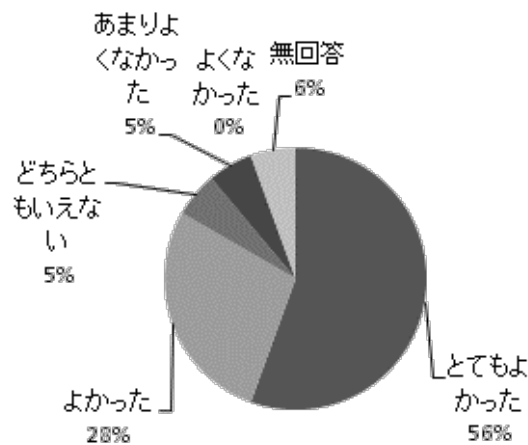
1. SCPJ プロジェクトの目指すもの [斎藤未夏（筑波大学附属図書館情報管理課専門職員）]



2. 学会と図書館 - 連携の未来を目指して [永井裕子 (日本動物学会事務局長)]



3. ディスカッション



4. このような懇談会を今後も続けたほうがよいですか？

